

## ビジネスを加速させるワークスタイル(第21回)

### IP電話とクラウドPBXの違い。業務活用へのポイントは？

2025.02.04



長い間、オフィスの電話はビジネスのコミュニケーションで中核的な存在を担っていた。昭和時代のドラマの1コマで、鳴り響く電話の呼び出し音にオフィス内の緊張感が高まるーなどといったシーンを思い出す人もいるだろう。



**『ひかり電話』をご検討の方に  
おすすめ資料をご紹介します！**

資料ダウンロードはこちら >

#### コミュニケーションのスタイルや電話環境が激変

電子メールの普及、ビジネスチャットやWeb会議など新しいツールの広がりなど、ビジネスコミュニケーションの姿は変わりつつあるが、今でも電話はなくてはならないツールの1つだ。電話番号の記載がなくて問い合わせ先が確認できないようなオンラインショップに対しては、購入を控えるといったリスク管理方法もある。電話はビジネスの窓口として不可欠な存在であり続けている。

とは言え、電話を取り巻く環境は大きく変化している。携帯電話やスマートフォンの利用が当たり前になり、社用でもスマートフォンなどを持つようになって、電話はオフィスのデスク上だけのものではなくなってきた。そして、電話をつなぐ仕組みも、物理的には従来の銅線の電話回線から光ファイバーに変わり、さらに電話交換機による接続から、インターネットなど同様のIPを使った接続へと移り変わっている。

ビジネス通話に関係するところでは、IP電話への移行や、クラウドPBXの利用といったキーワードを目にしたことがあるかもしれない。コストを引き下げながら、現代のビジネスシーンに合致したさまざまなコミュニケーションを実現するための手法として、IP電話やクラウドPBX(構内交換機)の利用が進んでいる。ビジネスパーソンにとって、IP電話であってもクラウドPBXであっても電話が通じれば良いだけのことだが、今後のコミュニケーションの品質向上とコスト削減には両者とも重要なポジションにいる。ただし、その役割は、それぞれ異なっている。

通話サービスを提供するIP電話とシステムを提供するクラウドPBX… 続きを読む